

株式会社シダー

2022年3月期決算説明会



2022年6月23日



株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい



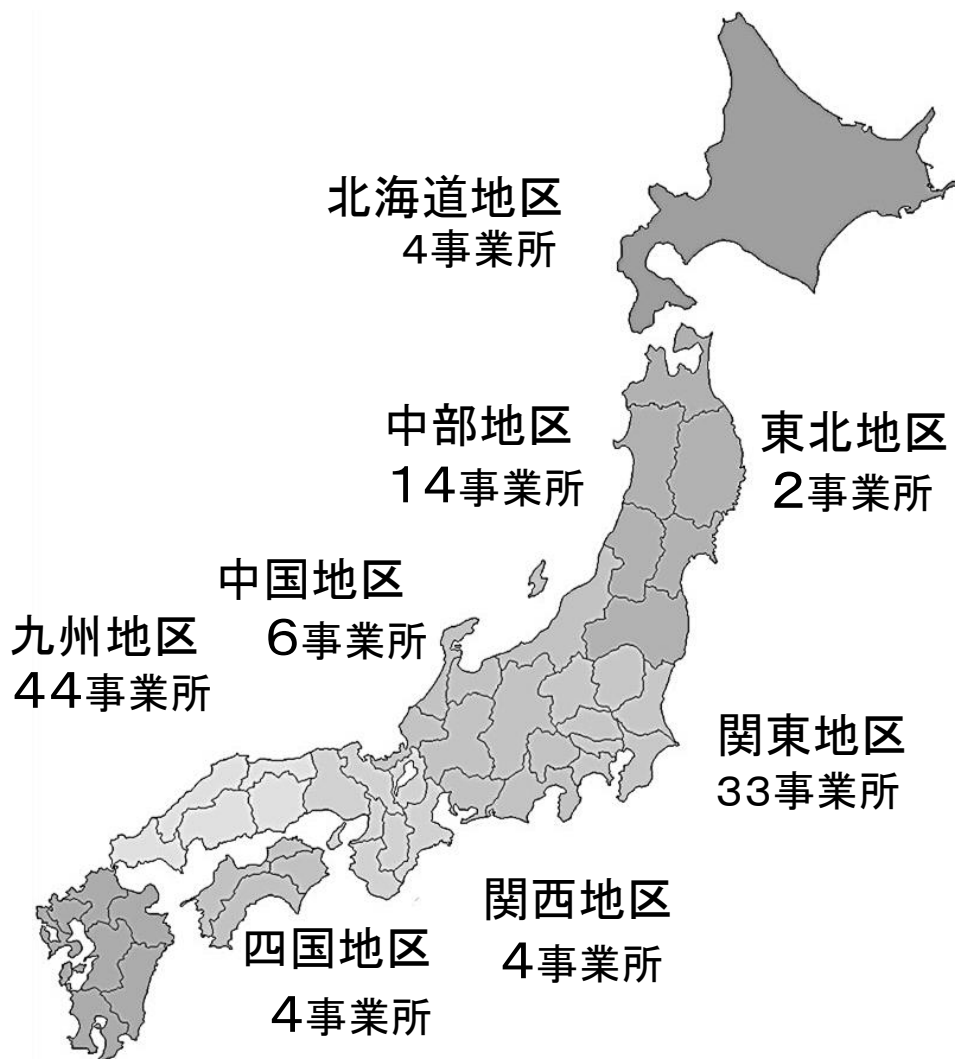
会社概要 (2022年3月31日現在)

設立	1981年4月	
本社	福岡県北九州市	
資本金	4億3,228万円	
事業内容	デイサービス	ホームヘルプサービス
	有料老人ホーム	ショートステイ
	グループホーム	福祉事業
	訪問看護	障害支援事業
	ケアプラン	
従業員数	2,058名	
事業所数	111カ所	

現在の事業所数 (2022年3月31日現在)

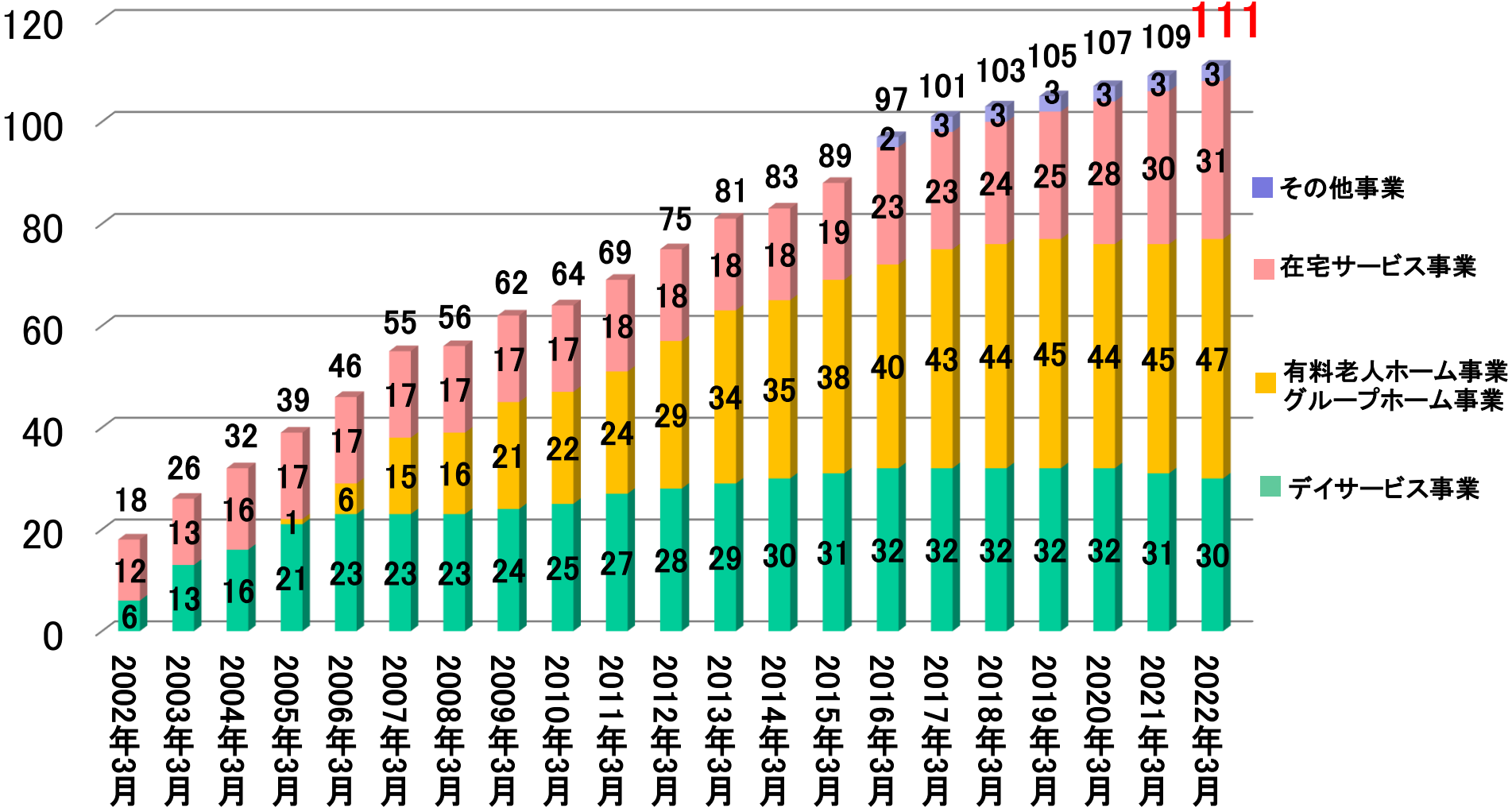
【全国 111事業所】

事業名	事業所数
デイサービス	30
有料老人ホーム	45
グループホーム	2
訪問看護ステーション	5
ヘルパーステーション	3
ケアプランセンター	23
福祉用具販売	1
福祉用具レンタル	1
就労支援A型事業所	1



事業所数推移

(事業所数)



目次

- 2022年3月期 決算概況(連結)
- 2023年3月期 業績予想及び配当予想
- セグメント別の事業概況
- 当社の取り組むべきこと

2022年3月期 決算概況(連結)

ハイライト

■ 売上高では、デイサービス事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同期比で減収。施設サービス事業では新規開設した施設の利用者獲得に注力したが、既存店において新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同期比で微増。

在宅サービス事業では、訪問看護の訪問件数の増加、ケアプランの計画作成数の増加により増収。

■ 利益面については、売上高が低調に推移したことに加え、新規施設の開設費用が重く、売上原価(人件費・経費)が大幅に増加。また、販管費についても昨年同期に比べ、事業活動が活発化したことにより、費用が増加したため、営業利益・経常利益とも減益。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失として固定資産の減損損失を計上。

2022年3月期 決算概況(連結)

(単位:百万円)

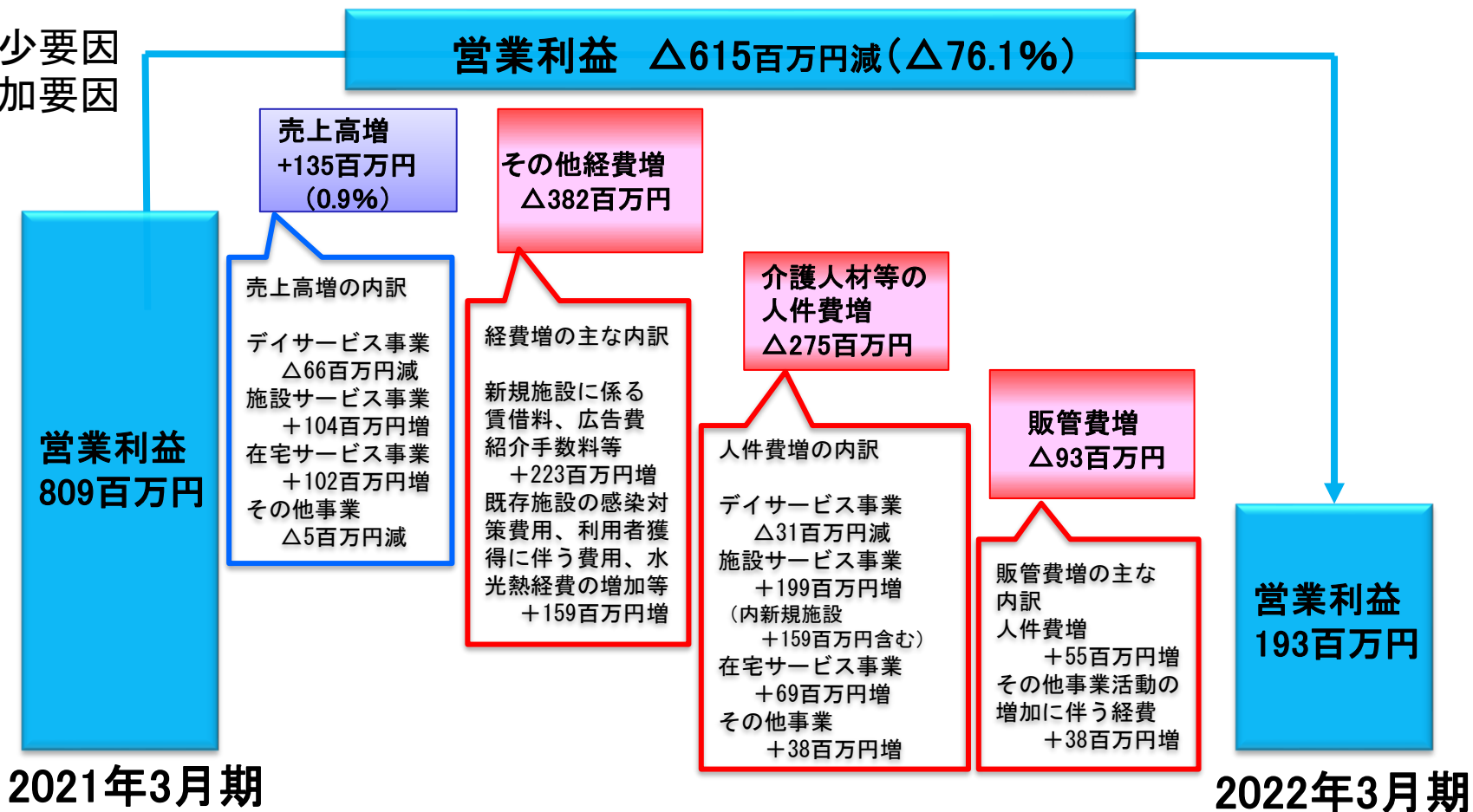
	2021年3月期 (通期)	2022年3月期 (通期)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	15,613	15,749	135	0.9%
営業利益	809	193	△615	△76.1%
経常利益	674	△51	△726	—
当期純利益	387	△319	△707	—

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

2022年3月期 決算概況(連結)

営業利益の主な増減要因

■ 減少要因
■ 増加要因



2022年3月期 決算概況(連結)

セグメント別売上高

(単位:百万円)

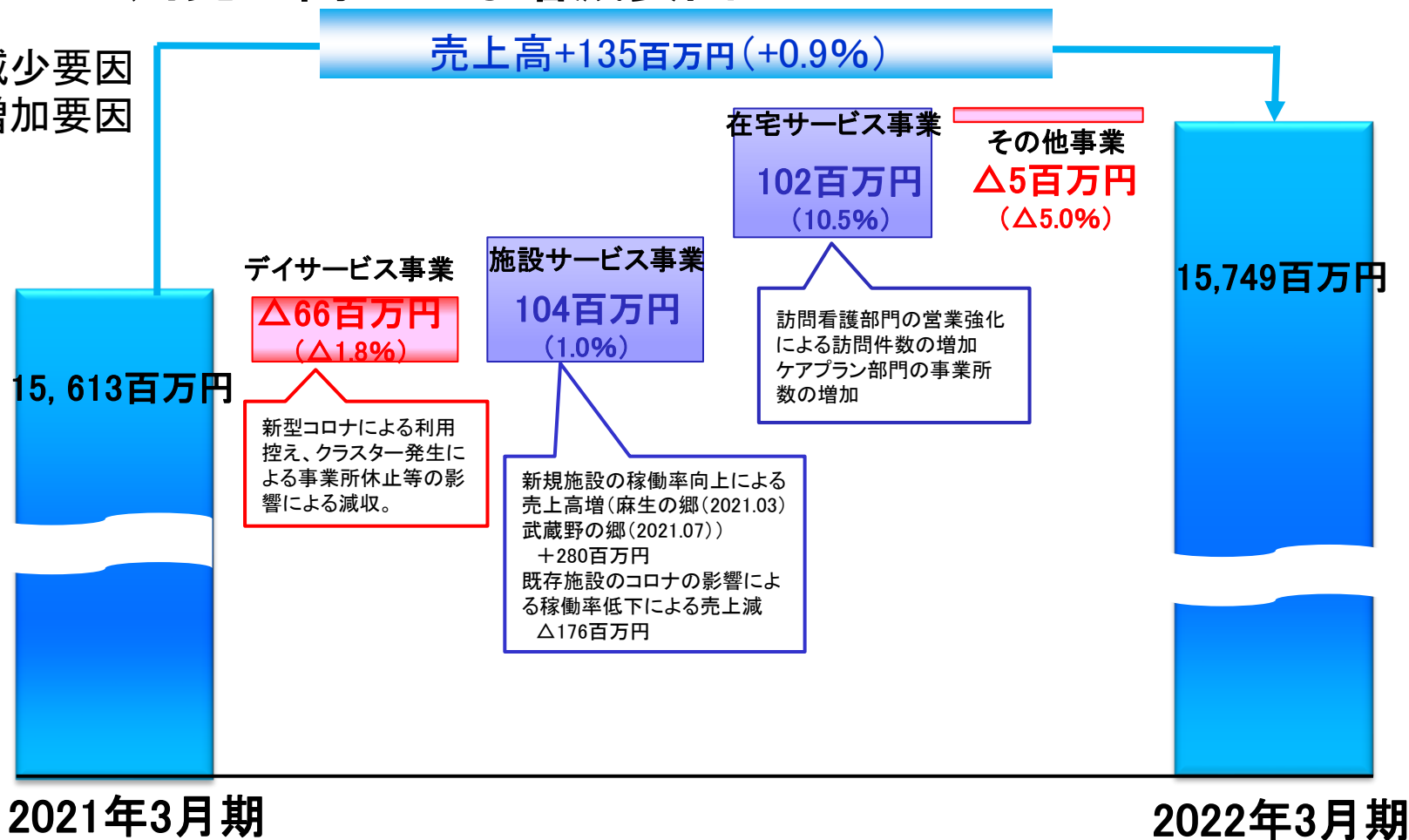
売上高	2021年3月期 (通期)	2022年3月期 (通期)	前年同期比	
			増減額	比率
デイサービス事業	3,601	3,535	△66	△1.8%
施設サービス事業	10,931	11,035	104	1.0%
在宅サービス事業	979	1,081	102	10.5%
その他事業	101	96	△5	△5.0%
全事業合計	15,613	15,749	135	0.9%



2022年3月期 決算概況(連結)

セグメント別売上高の主な増減要因

- 減少要因
- 増加要因



2023年3月期 業績予想(連結)

2023年3月期 通期計画概要

- 売上高については、デイサービス事業において、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準まで回復するには2023年3月までの期間を要すると仮定。施設サービス事業では、既存施設において、第2Qまでに2021年3月期と同等の施設稼働率(97%)に戻す計画。新規施設では、2021年7月埼玉県所沢市に開設した「武蔵野の郷」、2022年4月埼玉県蕨市に開設した「わらび花の郷」の稼働率向上に注力。
- 営業利益・経常利益については、既存店及び新規ホームの稼働率向上により、入居獲得に係る経費等が軽減される見通し。

2023年3月期 業績予想(連結)

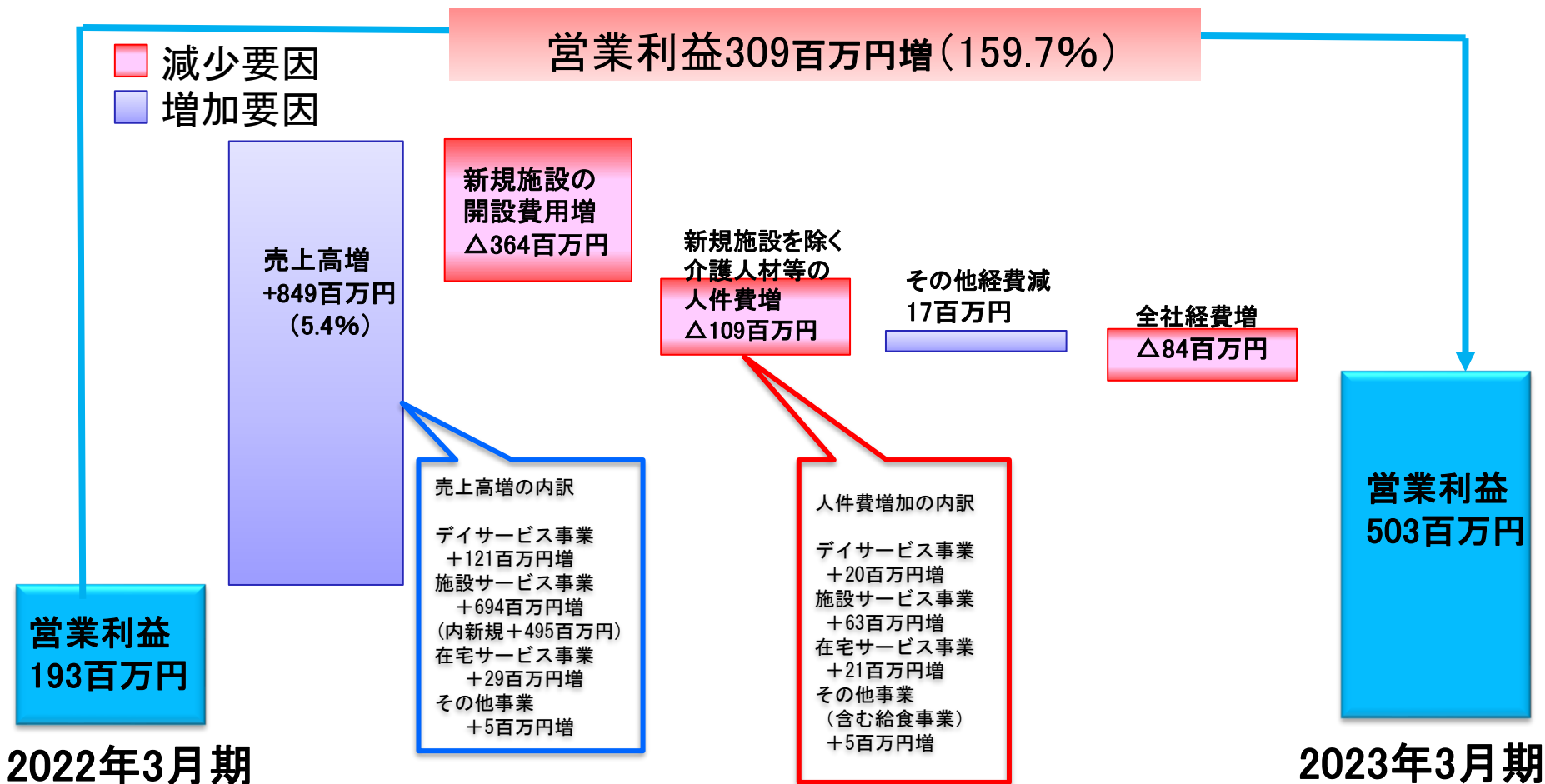
(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (予想)	前年同期比	
			増減額	比率
売上高	15,749	16,598	849	5.4%
営業利益	193	503	309	159.7%
経常利益	△51	183	235	—
当期純利益	△319	118	438	—

※当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

2023年3月期 業績予想(連結)

営業利益の主な増減要因(予想)



営業利益
193百万円

営業利益
503百万円

2022年3月期

2023年3月期

配当金について

当社は事業拡大による成長のための投資資金及び内部留保と利益配分とのバランスを念頭に、株主への安定継続した配当に加え業績の伸長に応じた配当を実施することを基本方針としております。

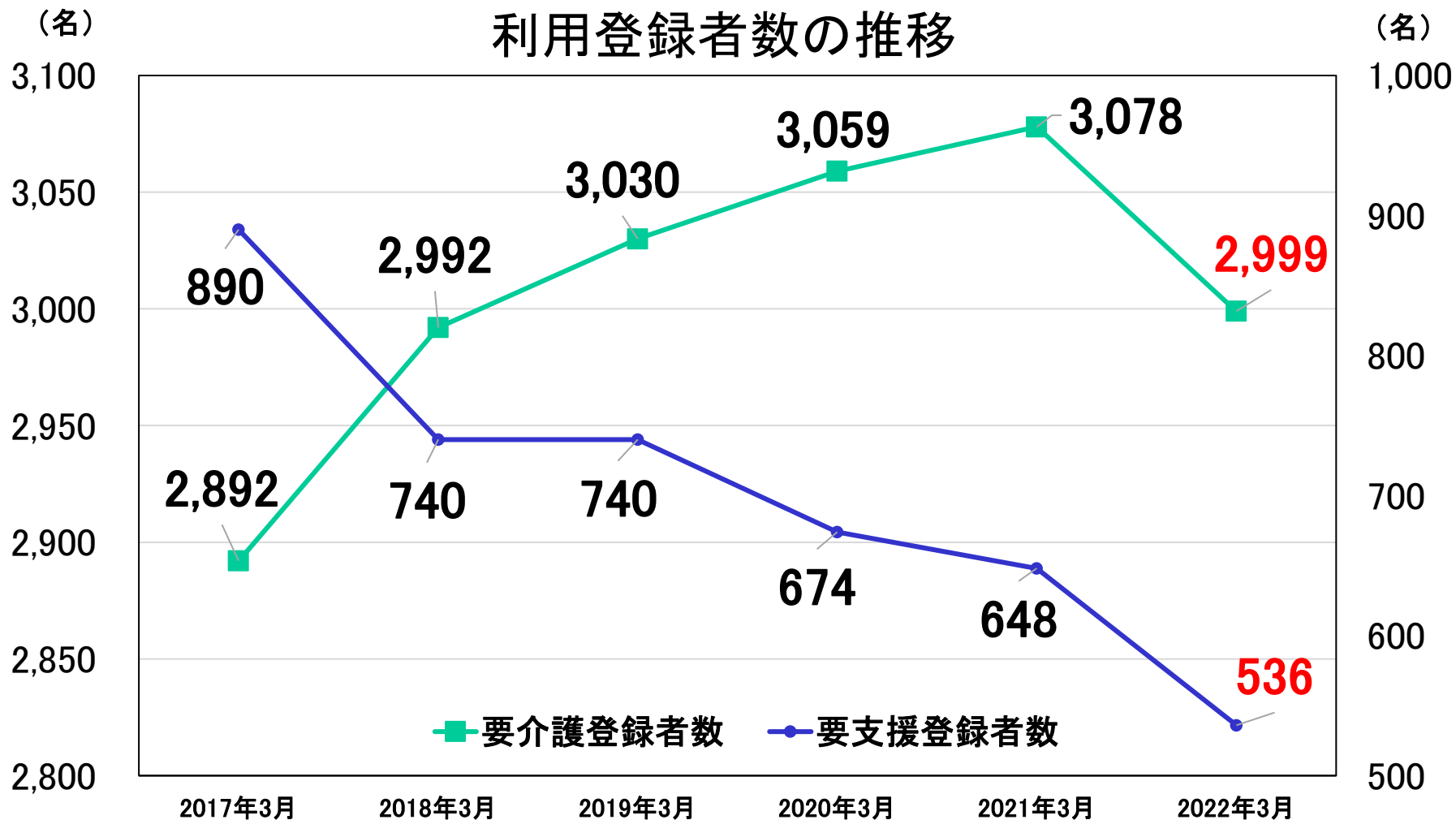
上記の基本方針を踏まえ、2023年3月期の配当につきましては、業績予想に基づき、期末配当として1株当たり3円を予定しております。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	—	0円00銭	—	6円00銭	6円00銭
2022年3月期	—	0円00銭	—	0円00銭	0円00銭
2023年3月期 (予定)	—	0円00銭	—	3円00銭	3円00銭

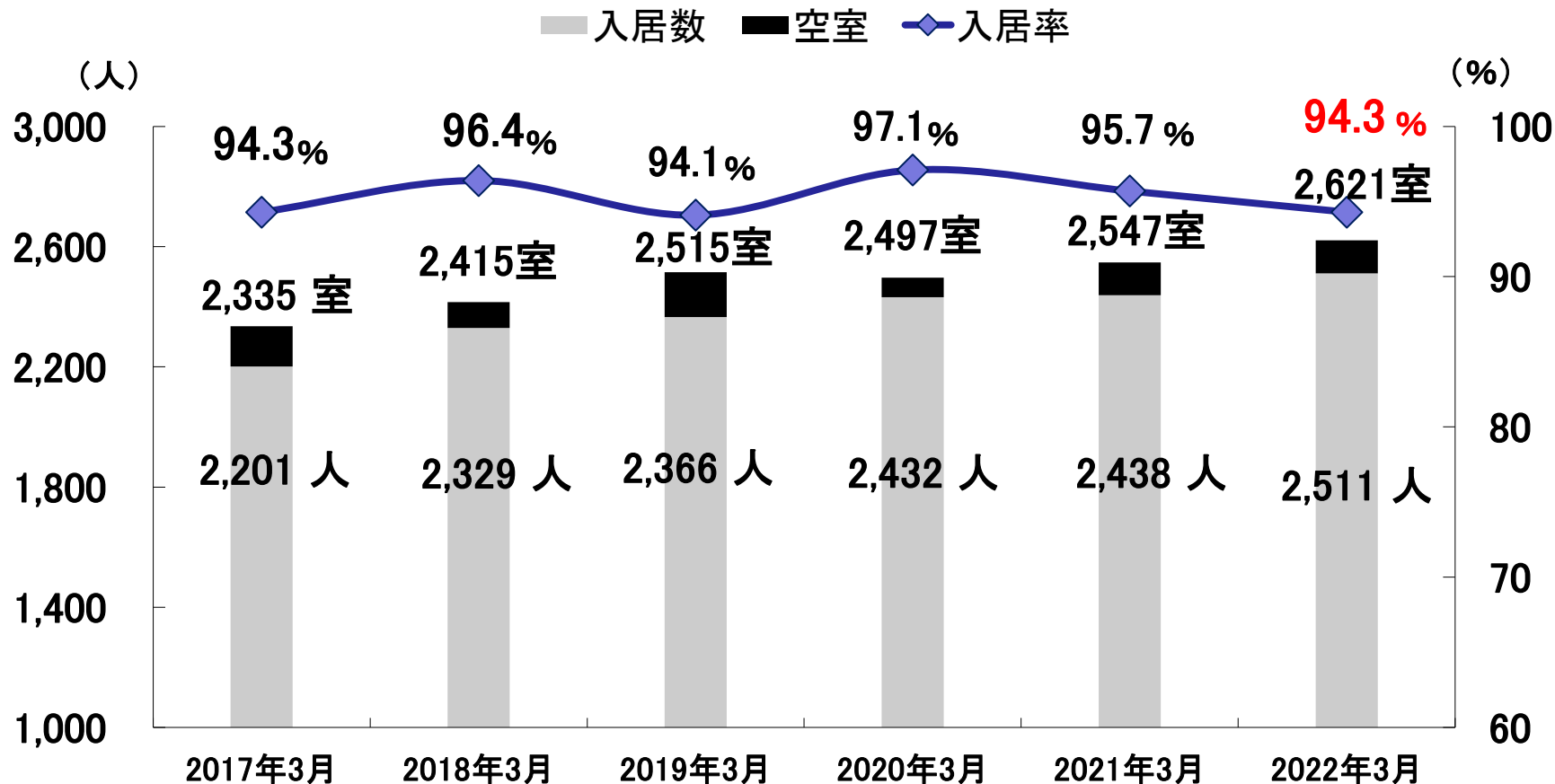
セグメント別の事業概況

デイサービス事業

利用登録者数の推移



施設サービス事業



※麻生の郷(50部屋)2021年3月1日開設
 ※武蔵野の郷(74部屋)2021年7月1日開設

当社の取り組むべきこと



CEDAR

株式会社シダー

いつも春の陽だまりでありたい



当社の取り組むべきこと

デイサービス利用回数回復へ

SNS活用

LINE公式・Instagram
アカウント作成

見学会再開

感染対策を厳重に行い
施設見学会再開

施設内の イベント強化

温泉やクラブ活動等
イベント開催

地域との関係強化

マルシェ等の地域
イベント実施・協力

営業強化

各施設に1～2名
営業職員を配置する
体制構築

当社の取り組むべきこと

デイサービス利用回数回復へ



LINE



Instagram



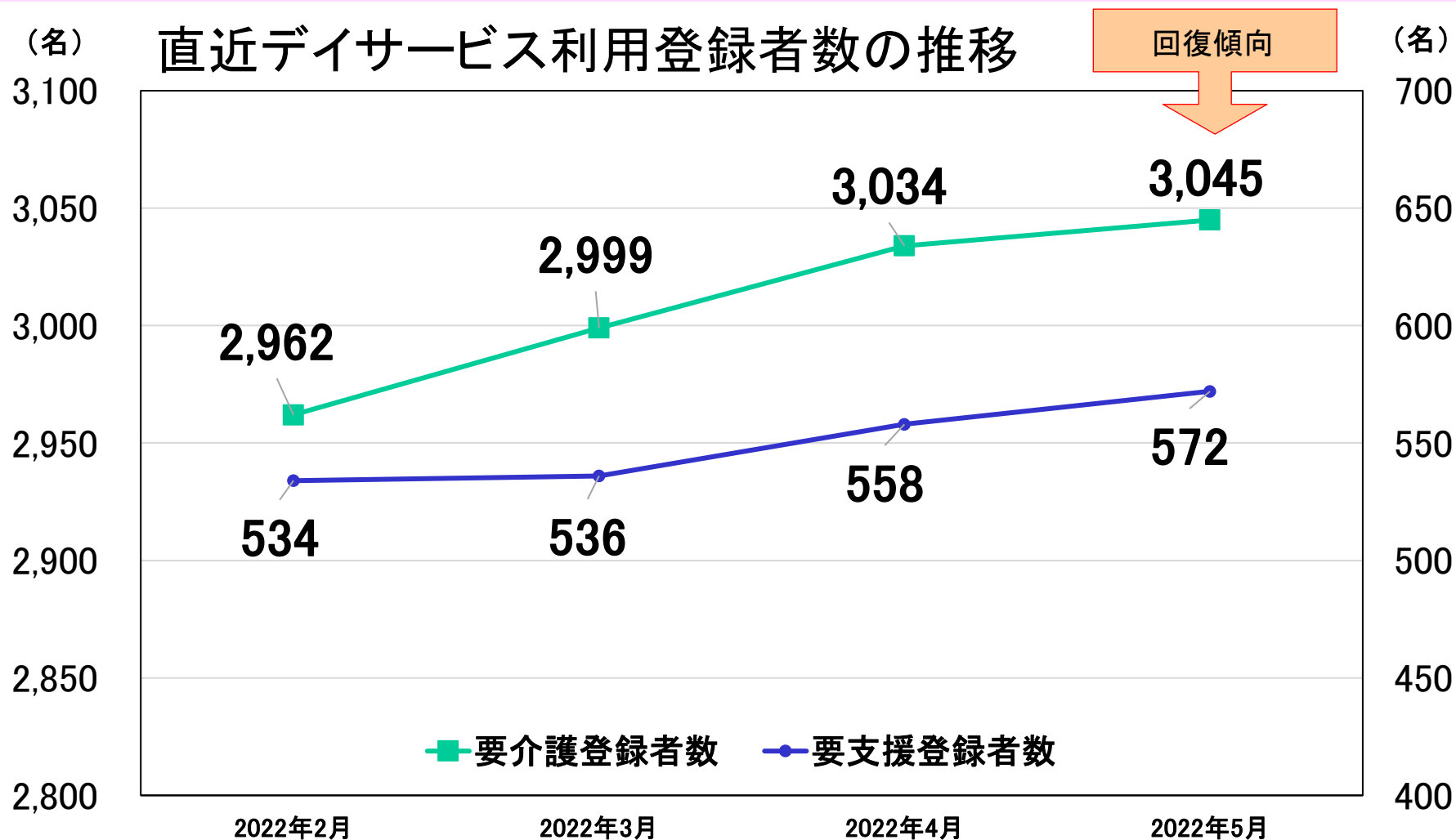
AOZORANOSATO7

The advertisement features a background image of a hot spring waterfall. The main text reads '湯河原から温泉直送！' (Direct hot spring delivery from Tamakawara!) and '7月29日プレオープン！' (Pre-opening on July 29th!). Below this, it says 'あおぞらの里で 温泉に入ろう！' (Let's take a hot spring bath at Aozora no Sato!). A cartoon character of an elderly woman is shown enjoying the hot spring. The bottom section includes a QR code and text about the project: '歴史ある温泉！' (Historical hot spring!), 'さまざまな効能！' (Various benefits!), and '動画第2弾も作成中！' (Video 2 is also being produced!).

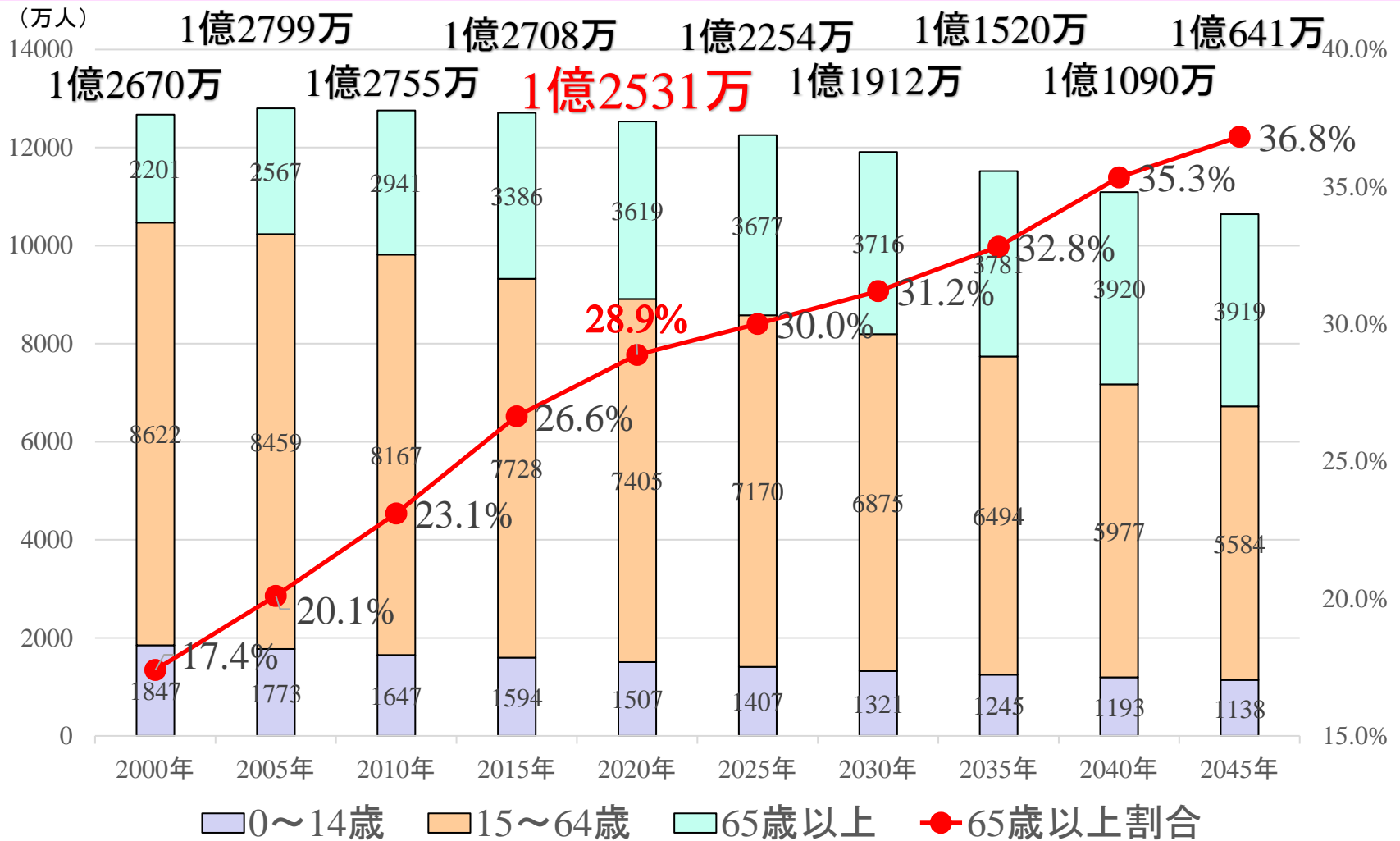
温泉プロジェクト動画
(Youtube)



当社の取り組むべきこと



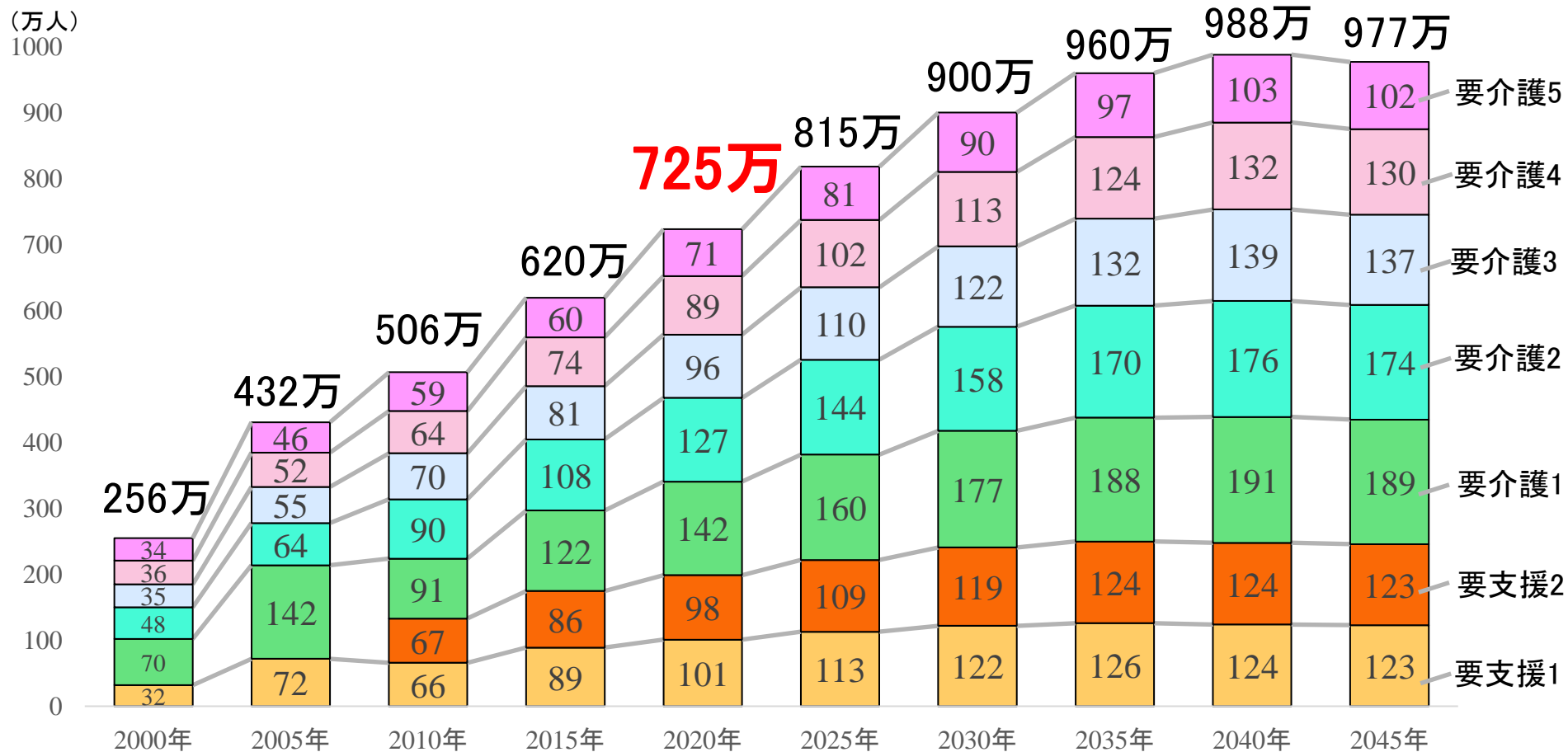
日本の総人口推移予測



出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」



要介護度別認定者数の推移予測



2000年、2005年は支援が1段階しかなく、
現行の要支援1、2を合計した数

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成29年推計）」
総務省「人口推計（平成28年）」、厚生労働省「平成27年介護給付実態調査」

当社の取り組むべきこと

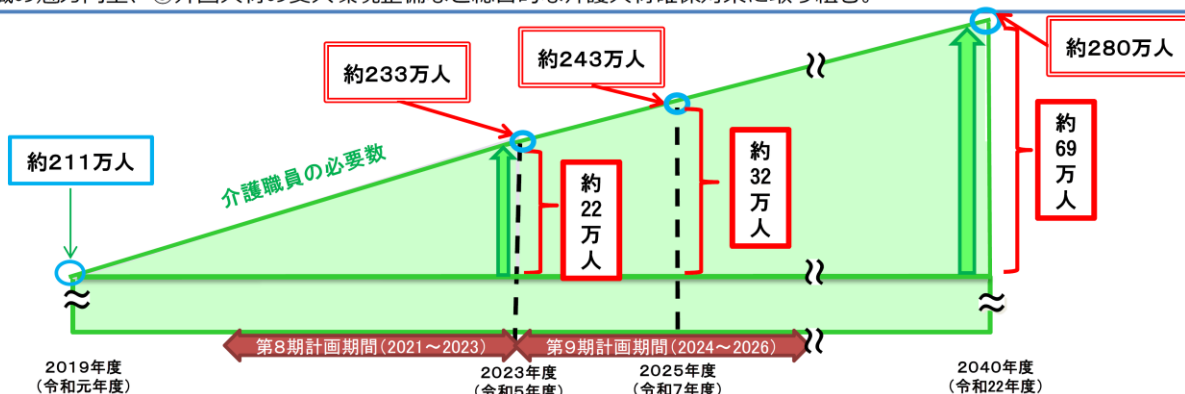
第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

別紙1

- 第8期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、
 - ・2023年度には約233万人（+約22万人（5.5万人/年））
 - ・2025年度には約243万人（+約32万人（5.3万人/年））
 - ・2040年度には約280万人（+約69万人（3.3万人/年））
 となった。 ※（）内は2019年度（211万人）比

※ 介護職員の必要数は、介護保険給付の対象となる介護サービス事業所、介護保険施設に従事する介護職員の必要数に、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員の必要数を加えたもの。

- 国においては、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む。

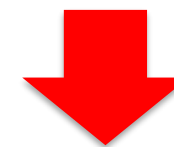


注1) 2019年度(令和元年度)の介護職員数約211万人は、「令和元年介護サービス施設・事業所調査」による。
 注2) 介護職員の必要数(約233万人・243万人・280万人)については、足下の介護職員数を約211万人として、市町村により第8期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量(総合事業を含む)等に基づく都道府県による推計値を集計したものである。
 注3) 介護職員数には、総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員数を含む。
 注4) 2018年度(平成30年度)分から、介護職員数を調査している「介護サービス施設・事業所調査」の集計方法に変更があった。このため、同調査の変更前の結果に基づき必要数を算出している第7期計画と、変更後の結果に基づき必要数を算出している第8期計画との比較はできない。

日本の
労働人口減少



高齢者人口
(要介護者は増加)



介護職員確保の
重要性が増す

出典：厚生労働省「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について」

当社の取り組むべきこと

介護職員対策について

介護職員の確保と定着

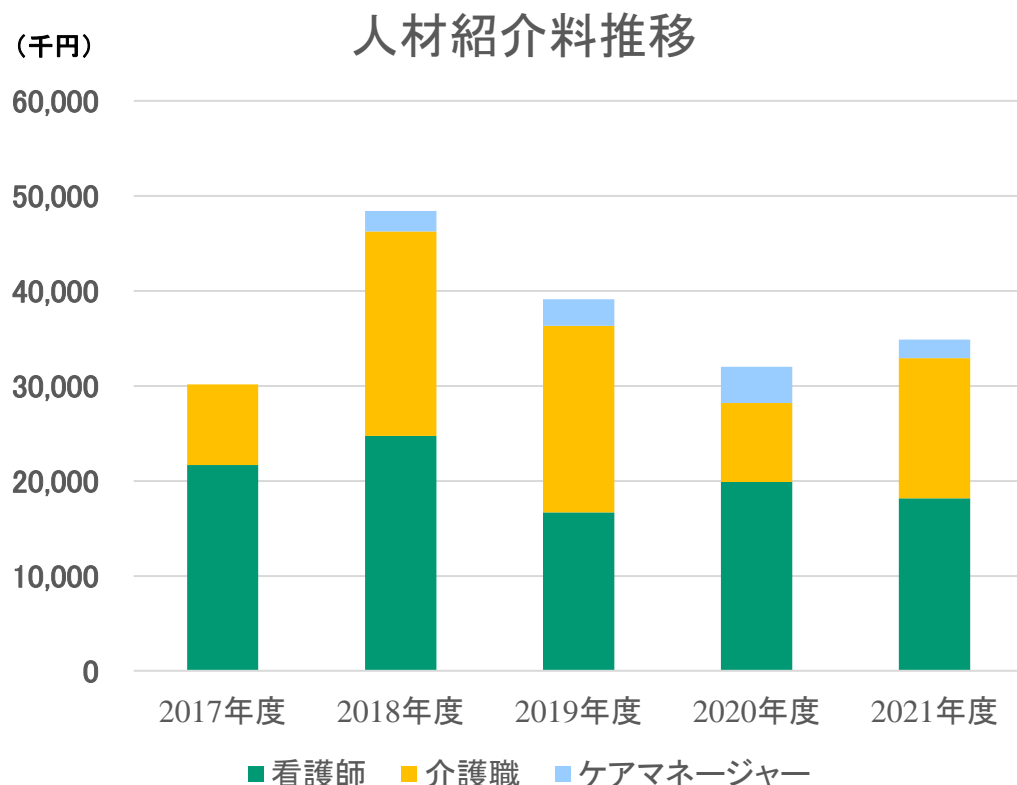
- ・介護職員処遇改善支援金制度を利用し賃金値上げへ対応。
- ・介護福祉士等の資格取得支援。
(介護福祉士資格:2022年受験者数80名、内合格者数66名)

外国人雇用促進

- ・国内の労働力減少を見据えて、外国人技能実習生受入継続。
- ・新たな在留資格『特定技能』を利用した受入も検討。
⇒2021年度 6名新規受入。合計12名受入(受入先:千葉、神奈川)
2022年度 20名新規受入(内、5名は特定技能実習生)
(受入先:北海道、埼玉、千葉、神奈川、福岡)

当社の取り組むべきこと

人材紹介会社への依存度を減少



人員配置基準を
確保する為に
やむを得ず
人材紹介会社を利用



採用担当を増員し
人材紹介会社への
依存度を減少させる

当社の取り組むべきこと

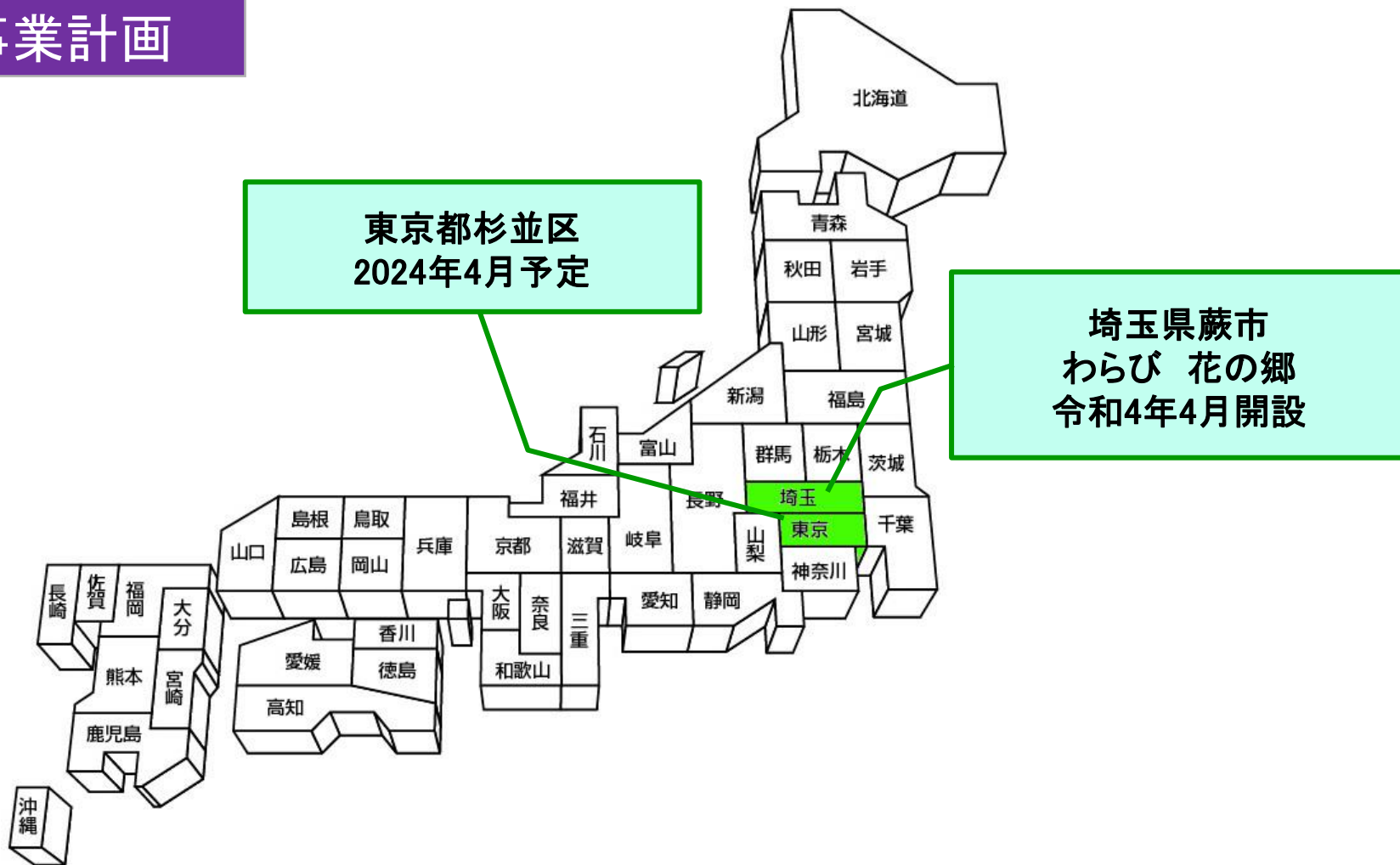
事業展開について

事業拡大・管理

- ・M&Aの検討
- ・管理が困難な施設の統合・整理
※2021年 5月 建部デイサービスセンター経営譲渡
- ・今後も特定施設の公募があれば、積極的に応募予定

当社の取り組むべきこと

事業計画



本資料の取り扱いについて

本資料は株式会社シダーの事業及び業界動向についての株式会社シダーによる現在の予定、推定、見込み、又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は様々なリスクや不確かさが内在しております。既に知られたもしくは今だに知られていないリスクや不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シダーは将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年6月23日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社シダーにより2022年6月23日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2022年6月23日 株式会社シダー

